

花火の疑問 作り方, 打ち上げ方, 色 3枚

10/11 本多氏の話 カードの合計 11枚

わかったこと (らっかさんがわかった) 4枚  
花火の疑問 (どうしてできた) 4枚  
お礼 3枚

10/15 制作 カードの合計 27枚

自分の絵についての感想 13枚  
うまくいったという内容 (6)  
反省, 改良点について (7)  
打ち上げについての心配 7枚  
班活動や友人について 3枚  
今後の活動について 4枚

11/1 昼花火打ち上げ カードの合計 26枚

花火があがるまでの気持ち 2枚  
花火を見ての気持ち 7枚  
行事に対する感想 8枚  
がんばりました 1枚  
はじめていおうがわかった 1枚  
いおうがへんなにおいがした 1枚  
花火師さんへのお礼 6枚

### (3) 変容

#### ① 児童の変容

児童は, 昼花火打ち上げ用の作品作りに熱心に取り組み, 生き生きと活動することができた。

花火に対するイメージは, R男のカードのように内容の質, 量ともに変容がみられた。特に, 体験をとおしてわかったことや友人の行動に対する感想が書けるようになってきている。

Y子は, リーダーの経験により積極的な行動をとるようになった。

#### ② 教師の変容

「地域教材の開発により児童の活動の意欲を高

めることができたが, 自分自身も高まることができた。班の組み方やリーダーなど固定的にとらえがちであったが, 目的別の班構成や集団の目標と自分の考えが違うときの方策を準備していく中で, 全体の目標と個人の目標との調和のさせ方がわかってきた。

また, イメージマップの手法を工夫した結果, 今まで見えていなかった児童の考えがつかめた」とC教諭は実践の感想を述べている。

### (4) 実践した内容と各視点の関連

| 内容          | 視点 | 1 | 2 | 3 | 4 |
|-------------|----|---|---|---|---|
| 教材開発, 行事計画  |    | ○ | ○ |   | ○ |
| 地域の人の話      |    |   | ○ | ○ | ○ |
| 目的別班による作品作り |    |   | ○ | ○ | ○ |
| 花火打ち上げ      |    |   | ○ | ○ |   |
| 1日リーダー      |    |   | ○ | ○ |   |
| 感想記録        |    |   |   | ○ |   |

### (5) 考察

本事例は, 視点4の「個が生かされる」学習環境としての物的環境, 人的環境を整備・活用するをうけた実践であった。昼花火の作品作りと打ち上げ大会の開催を通して次の点が明らかになった。

#### ① 企画・立案の段階

目的別班構成や自己決定のできる場の位置づけは, 集団の目標と個人の目標の調和を図る上で有効であった。その際, 低学年では自己決定できない児童のための援助を工夫する必要がある。

また, 行事に向けての作品作りや企画への参加をとおして, 学び方を学ばせることもできた。

#### ② 地域の人との交流

地域の文化を掘り起こすことにより, 児童の興味・関心を高める教材開発ができた。

地域の花火に詳しい本多氏から花火に関する話を聞いたことで, 児童の意欲をさらに高めることができた。

③ 一日リーダーを意図的に体験させることにより, 自分に対する理解が深まり, 集団の中での積極的な気持ちを高めることができた。